



# I

## 市民環境部門計画



多様なつながりによって  
市民が行動しているまち  
(p78)

政策	基本施策	施策
	1-1	<p>互いに認め合い 誰もが活躍できる 地域の実現(p80)</p> <p>1-1-1 市民主体の地域づくり 活動支援(p82)</p> <p>1-1-2 市民活動拠点による にぎわいの創出(p84)</p>
	1-2	<p>安全で安心できる まちづくり (p86)</p> <p>1-2-1 災害に強いまちづくりの 推進(p88)</p> <p>1-2-2 交通事故及び犯罪の減少 による安全なまちの構築 (p90)</p>
	1-3	<p>環境に配慮する まちづくり(p92)</p> <p>1-3-1 住民協働による 環境保全(p94)</p>
	1-4	<p>市民に信頼と安心感 を与えられる 窓口の対応(p96)</p> <p>1-4-1 適正で丁寧な窓口業務の 推進(p98)</p>

政策

基本施策

施策

# 1 市民環境部門

総合計画基本構想に掲げるまちづくりの「視点」との関係

● 特にこの部門に関連する視点：**活かす** 支え合う 暮らす

## (1) この部門の目指す4年後のまち

*Vision*

**多様なつながりによって市民が行動しているまち**

### 【設定理由】

少子高齢の進展や地域に対する意識が多様化する中において、幸福を実感し安全・安心に暮らすために、市民一人一人が地域や行政とつながりを持ち、自身や地域のことを考え、行動し、地域づくりを進めるために多様なつながりによって、市民自らが行動しているまちをめざします。

## (2) この部門が4年間で取り組むこと

*Mission*

**安心して暮らせる環境と地域づくりを推進  
します**

### 【設定理由】

親切丁寧な窓口は、多くの市民とつながる身近な接点となるとともに、市民が安心して暮らせる地域づくり、防災防犯、環境保全などの地域活動を支援し、その活動の輪が広がる環境づくりを推進します。



### (3) 政策の進捗に関連する指標

#### ① 暮らしやすさ指標

#### 地域活動に参加している人の割合



##### 【設定理由】

地域づくりは地域住民の数多くの参加のもと活動が展開されることが大切であり、市民環境部門の重要要素と考え、指標としました。

#### ② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

#### 滝沢市で幸せに暮している人の割合



##### 【設定理由】

幸福を実感する重要要素に「家族関係」があります。その他「地域のつながり」、「良好な自然環境」、「防災防犯の安全」など、「人とのつながり」に関する要素が多数あり、市民環境部門のめざすまちの姿の重要要素と考え指標としました。



### (4) 部門における環境分析

#### 【外部環境分析】

人とのつながりにより、安全・安心に暮らせる地域防災力の強化や地域環境の保全と快適な暮らしを実現していくとともに、マイナンバーカードの本格的な運用が開始されることによる利活用への対応が必要です。

また、地域に対する意識の多様化に対応した地域活動の人材、担い手の育成が必要です。

#### 【内部環境分析】

地域活動の組織化や活動の場は充実してきていますが、コミュニティ施設の老朽化や地域活動への参画の低下が課題となっています。地域づくり活動、地域防災活動、環境保全活動への支援のあり方の検討と地域活動のNPOなど中間支援団体の育成や、戸籍・防災等の専門的職員の育成が必要です。

政策

基本施策

施策

市民環境部門

1-1

## 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の 実現

この基本施策の所管：市民環境部地域づくり推進課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：**ずっと住みたいと思える市である**

### (1) この基本施策の目指す4年後の姿

*Vision*

## 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の 実現

#### 【設定理由】

地域活動を行う上で、役員のなり手不足や事業への参加者減少等の課題がある中、性別・年齢を問わず、多様な考えを認め合い、気軽に活動に関われる雰囲気づくりが大切です。その中で、人とのつながりによって、誰もが活躍できる地域が実現されると考えます。

### (2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

*Mission*

## 多くの市民が集い連携し、つながりを意識 した地域づくりを推進します

#### 【設定理由】

市民一人一人が、様々な場面で地域づくりに関わるのが大切であり、市民や様々な団体との連携により活動の輪が広がりを見せ、その過程の中で、人とのつながりを意識し、協働・連携による市民主体の地域づくりが展開されていくと考えます。



### (3) 基本施策に関連する指標

#### ① 暮らしやすさ指標

#### 地域のお祭りや行事に参加した回数

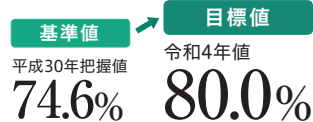


##### 【設定理由】

幸せに暮らすためには、地域において人とのつながりを意識することが大切です。そのためには、自治会の運動会やお祭りなどの地域行事に気軽に参加し、それをきっかけに交流も生まれることにより、有事の際には助け合う力にも繋がると考え、指標としました。

#### ② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

#### 滝沢市に愛着がある人の割合



##### 【設定理由】

地域づくりを推進する上で、多くの市民の参画が大切であり、性別・年齢を問わず、誰もが、様々な活動に参加することが望まれます。地域活動に参加することが、幸福感に寄与する重要な要素である人とのつながり意識を向上させ、地域に対する愛着へ繋がるものと考え「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。



### (4) この基本施策における環境分析

#### 【外部環境分析】

地域コミュニティにおいて、市民の地域に対する意識やライフスタイルが多様化する中、地域活動を支える役員の固定化や担い手不足が課題となっています。人とのつながりにより、地域全体で活動を支える環境を整えながら、誰もが活動し、活躍できる地域を目指す必要があります。

#### 【内部環境分析】

賑わいと交流を創出するビッグルーフ滝沢がオープンし、多くの市民に利用されています。今後は、利用する団体同士の交流やイベントが開催されることにより、市民の活動の場が増えるものと考えます。一方、地域活動の拠点となる地区コミュニティセンターや集会所等は、老朽化に伴う修繕等が大きな課題となります。

政策

基本施策

施策

1-1 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現

## 1-1-1 市民主体の地域づくり活動支援

この施策の所管: **市民環境部地域づくり推進課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **地域の中に支え合う仕組みがある**

### (1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

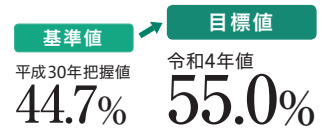
- ◆ 地域別計画の推進
- ◆ 市民主体による地域づくり活動の支援
- ◆ 担い手の育成と地域のあり方の検討
- ◆ 地域づくり支援職員による支援の推進
- ◆ 次期地域別計画の検討・策定
- ◆ 男女共同参画計画の推進



### (2) この施策に関連する指標

#### ① 暮らしやすさ指標

**滝沢市はみんなが支え合うことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合**

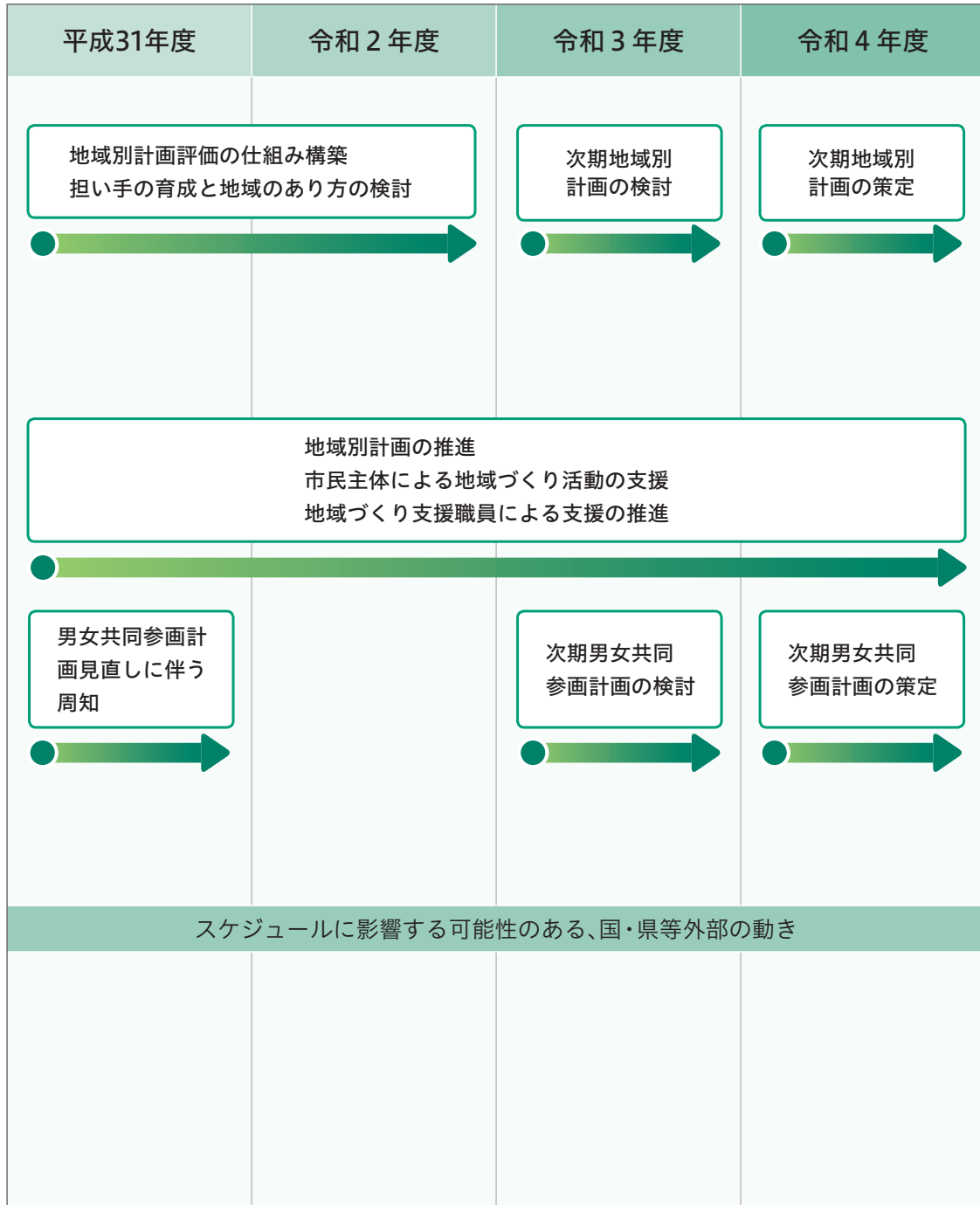


#### 【設定理由】

市民主体の地域づくり活動を推進するためには、多様化する意識やライフスタイルを認め合い、みんなが支え合うという意識の中で、誰もが地域づくり活動に取り組むことが可能になるものと考えられることから、「滝沢市はみんなが支え合うことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合」を指標としました。

### (3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

1-1 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現

## 1-1-2 市民活動拠点によるにぎわいの創出

この施策の所管: **市民環境部地域づくり推進課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **人々が集まり活動できる場所がある**

### (1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ ビッグルーフ滝沢の適正な管理運営
- ◆ 多様な市民が利用できる施設のあり方の検討
- ◆ 多様な団体との連携による地域づくり活動の支援
- ◆ ビッグルーフ滝沢の管理運営の方向性検討
- ◆ コミュニティ施設の整備支援と施設のあり方の検討



### (2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

**人々が集まり活動できる場所があると  
感じている人の割合**



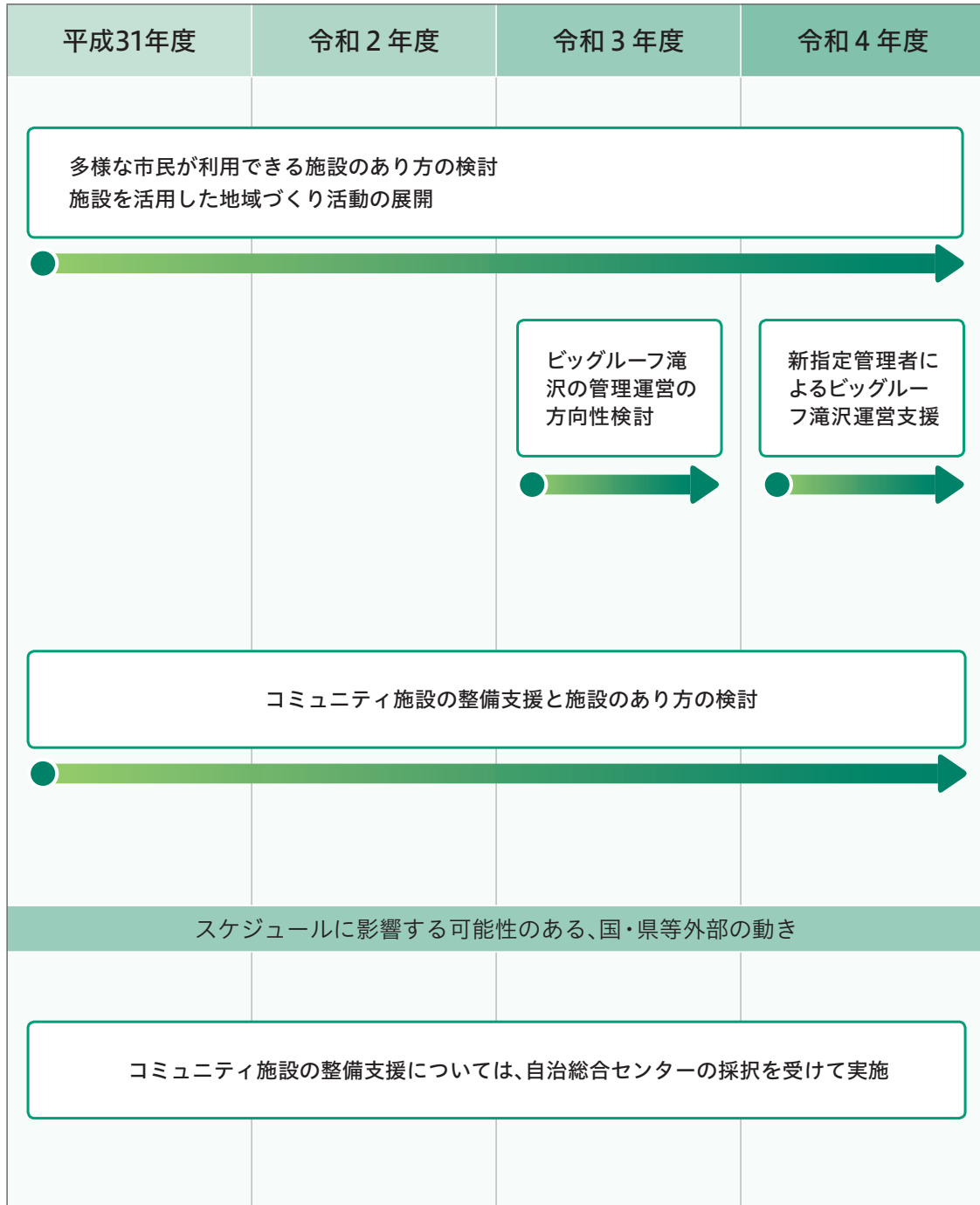
**【設定理由】**

市民が集まり交流を深めるためには、多くの市民が安心して集まれる地域の活動拠点が必要であると考えます。誰もが気軽に利用でき、多様な活動に活かされる環境であることにより、活動拠点ににぎわいが生まれるものと考えられることから、「人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合」を指標としました。



### (3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

市民環境部門

## 1-2 安全で安心できるまちづくり

この基本施策の所管：市民環境部防災防犯課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：地域に安心できる防災の仕組みがある

### (1) この基本施策の目指す4年後の姿

*Vision*

## 安全で安心できるまちづくり

#### 【設定理由】

安全・安心な暮らしを支えるため、災害等の有事に備え、いざという時に地域が迅速に対応できるよう、地域の活動を支援し地域防災力の強化に努めます。また、地域の安全・安心の推進を図るため、子供から高齢者まで安心して暮らせるよう交通事故件数の削減と犯罪の少ないまちを目指します。

### (2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

*Mission*

## 自主防災組織の育成、交通安全・防犯活動の展開

#### 【設定理由】

自助、共助の実践を促し地域の安全・安心の推進を図るため、防災知識を持った自主防災組織のリーダーを育成します。また、市民の防災意識の向上を図るため全地域での防災訓練の実施を目指します。

子どもや高齢者の交通弱者を守るため、交通安全教室、街頭指導、広報啓発活動などを関係機関と連携し事業を展開します。



### (3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

#### 災害に強いまちだと感じている人の割合



##### 【設定理由】

各自治会毎に自主防災組織があり、自主防災組織のリーダー研修や防災訓練の実施等により地域防災力の向上が図られていることから「災害に強いまちだと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

《前期計画時目標達成済》

#### 子どもが安全に通学できると感じる人の割合



##### 【設定理由】

子どもたちが交通事故や犯罪に遭わず通学できるよう地域で子どもたちを守る社会の実現が求められることから「子どもが安全に通学できると感じる人の割合」を指標としました。



### (4) この基本施策における環境分析

#### 【外部環境分析】

全国的に集中豪雨等による土砂災害や火山噴火、大きな地震災害など自然災害が多く発生しています。また、市民の安全に着目した生活環境においては、子どもの自転車事故や交通死亡事故における高齢者の割合が高まっています。

#### 【内部環境分析】

防災に関して、地域防災力の強化を図るため、自主防災組織の活動の支援が必要とされています。また、防犯・交通安全については、高齢者を狙った詐欺などへの対応、子どもや高齢者への交通安全対策の強化が求められており、警察等の関係機関並びに少年補導員や交通指導員などと緊密な連携が必要です。

政策

基本施策

施策

## 1-2 安全で安心できるまちづくり

## 1-2-1 災害に強いまちづくりの推進

この施策の所管: 市民環境部防災防犯課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: 地域に安心できる防災の仕組みがある

## (1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 各自主防災組織のリーダー的役割を担う人材の育成
- ◆ 各自主防災組織による防災訓練に係る訓練内容の指導・助言
- ◆ 防災行政無線をはじめとした多様な情報伝達手段の構築による確実な情報伝達の実施
- ◆ 防災資機材の拡充整備
- ◆ 消防団の各種教育訓練の実施



## (2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

災害に強いまちだと感じている人の割合

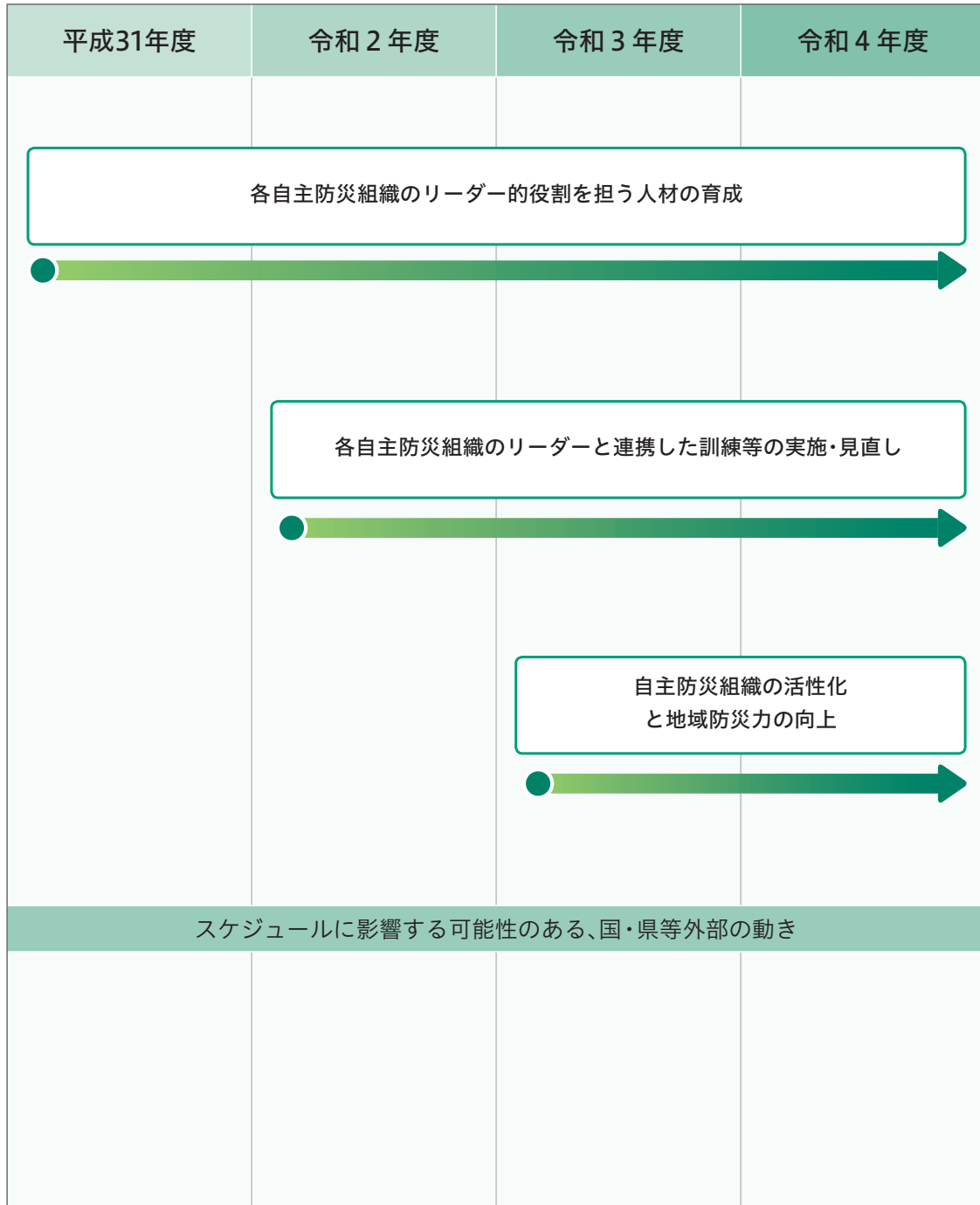


## 【設定理由】

各自治会毎に自主防災組織があり、自主防災組織のリーダー研修や防災訓練の実施等により地域防災力の向上が図られていることから「災害に強いまちだと感じている人の割合」を指標としました。

### (3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

1-2 安全で安心できるまちづくり

## 1-2-2 交通事故及び犯罪の減少による安全なまちの構築

この施策の所管: 市民環境部防災防犯課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: 市に犯罪がない 交通安全が保たれている

### (1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 高齢者や子供を対象とした交通安全教室の実施
- ◆ 交通指導員による街頭指導・広報啓発活動の実施
- ◆ 防犯灯、カーブミラー等の修繕及び設置
- ◆ 防犯団体、少年補導員等による防犯見守りパトロールの実施
- ◆ 自治会と連携した市民参加型の防犯交通安全対策の推進



### (2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

#### 交通事故発生件数



#### 【設定理由】

交通事故の防止は、国、県、市及び関係機関・団体のみならず市民一人一人が全力を挙げて取り組まなければならない重要な課題であることから「交通事故発生件数」を指標としました。

### (3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高齢者や子どもを対象とした交通安全教室の実施			
●————→			
交通指導員による街頭指導・広報啓発活動の実施			
●————→			
防犯灯、カーブミラー等の修繕及び設置			
●————→			
防犯団体、少年補導員等による防犯見守りパトロールの実施			
●————→			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

市民環境部門

## 1-3 環境に配慮するまちづくり

この基本施策の所管：市民環境部環境課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：市に豊かな自然がたくさん残っている

### (1) この基本施策の目指す4年後の姿

*Vision*

## 環境に配慮するまちづくり

#### 【設定理由】

本市は、岩手山をはじめとする雄大で恵まれた自然環境の下、環境基本条例を定めエネルギーの節約、再生可能エネルギーの活用、ごみの減量化、資源化の取組により循環型社会の形成を推進します。また、取組みを更に効果的にするため、環境ボランティアを育成するとともに、市民、市民団体、事業者、市の協働によるごみ減量化などの環境保全活動に取り組める体制や地域清掃の推進体制を構築し環境に配慮するまちを目指します。

### (2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

*Mission*

## 環境保全の地域活動を支援し、環境に対する意識の向上を目指します

#### 【設定理由】

ごみ減量化活動など環境保全に関する事業は、市民、自治会、事業者の主体的な行動や互いの情報の共有、連携及び支援をしていくことにより、その行動の過程において環境に対する意識が相乗的に醸成され、環境への意識の向上につながっていくと考えます。

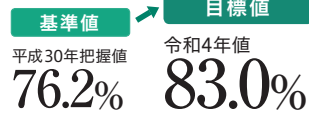




### (3) 基本施策に関連する指標

#### ① 暮らしやすさ指標

**豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合**



#### 【設定理由】

自然環境を大切にし、豊かな自然を次世代に引き継ぐためには、環境に対する取組に関心を持ってもらい、意識の高揚を図っていく必要があることから「豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合」を指標としました。

#### ② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

**地域清掃活動への参加者数**



#### 【設定理由】

ごみ拾い、ごみステーション周りの清掃、草取りなどの地域清掃活動は、環境に配慮する地域住民の活動であることから、また、同時に地域の環境の保全につながることから地域清掃活動への参加者の増加が良好な自然環境の推進及び環境に対する意識の醸成と考え、指標としました。



### (4) この基本施策における環境分析

#### 【外部環境分析】

自然環境については、地球環境による異常気象、外来生物による在来種や生態系への影響が心配されるほか、社会環境については少子高齢社会に伴い管理の行き届かない空き地等の増加が懸念されるなど環境問題をとりまく状況は厳しさを増しています。また、ごみ処理の広域化に伴うごみ分別等の対応が必要となります。

#### 【内部環境分析】

市民の良好な、環境保全と創造に関し、市民、市民団体、事業者及び市が協働して取組む組織として、たきざわ環境パートナー会議があります。一方、CO<sub>2</sub>削減など地球環境に配慮したごみ減量化行動計画の実行により市民、市民団体、事業者の環境への意識の醸成が期待されます。

政策

基本施策

施策

1-3 環境に配慮するまちづくり

## 1-3-1 住民協働による環境保全

この施策の所管: **市民環境部環境課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **自然環境に配慮する取組が行われている**

### (1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ ごみの減量とリサイクルの推進等環境保全活動の展開
- ◆ 衛生指導員を通じた地域衛生活動への支援
- ◆ 地域活動であるクリーンたきざわ運動の展開
- ◆ 焼却ごみの広域処理移行への対応
- ◆ 国の目標を踏まえた、二酸化炭素削減に向けた市民との取組



### (2) この施策に関連する指標

#### ① 暮らしやすさ指標

**1日当たりのごみ排出量(住民1人当たり)**

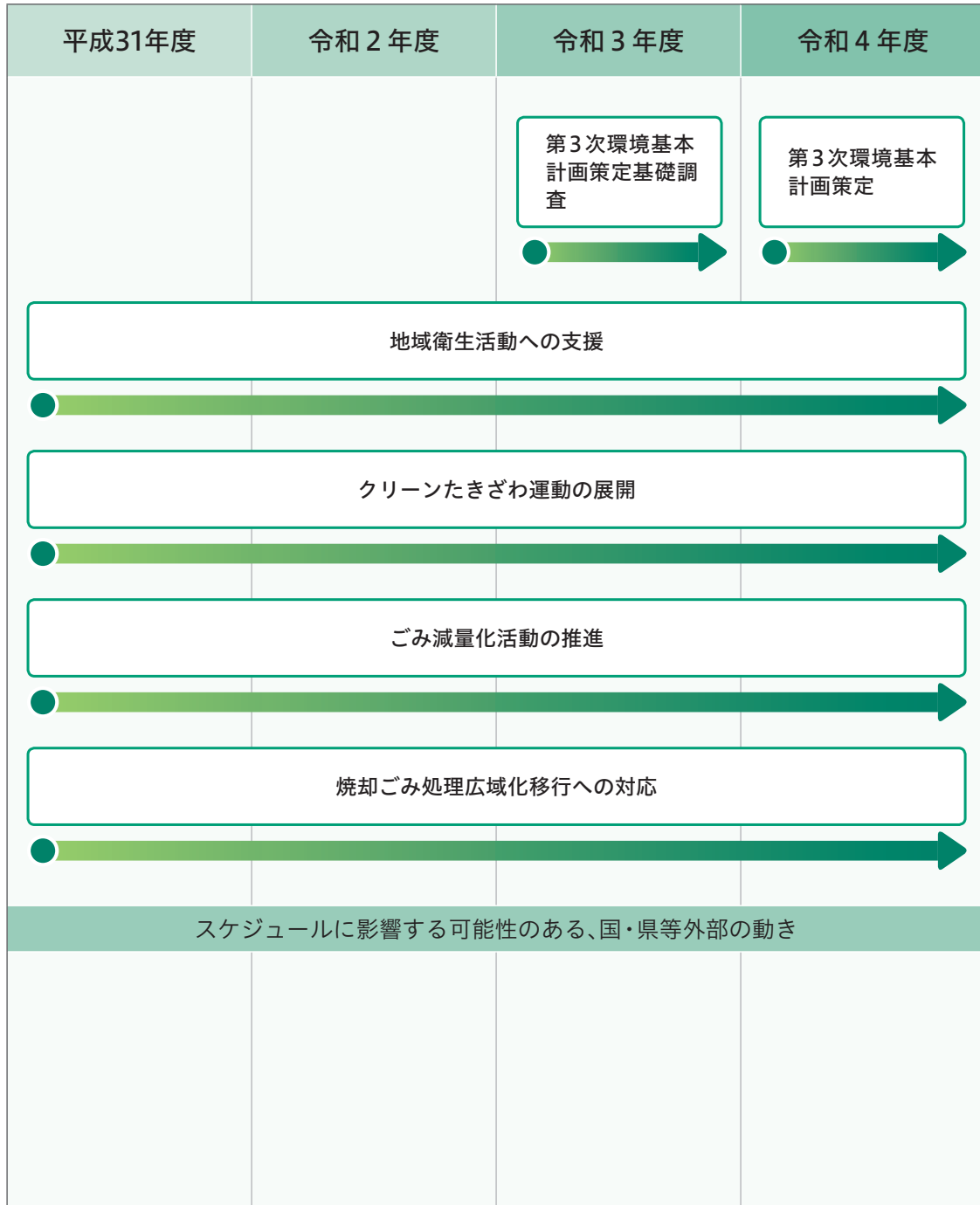


#### 【設定理由】

環境基本計画・地球温暖化対策実行計画に基づいた一般廃棄物処理基本計画、ごみ減量化行動計画の大きな目標のひとつであり、市民一人一人が身近なごみの問題を意識することにより、滝沢市の恵まれた自然環境を保全することができると考え、指標としました。

### (3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

市民環境部門

1-4

## 市民に信頼と安心感を与えられる 窓口の対応

この基本施策の所管：市民環境部市民課・東部出張所

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：市役所の仕事は信頼できる

### (1) この基本施策の目指す4年後の姿

*Vision*

## 市民に信頼と安心感を与えられる窓口の対応

#### 【設定理由】

市民の住民情報について、法令等に基づき適正に管理するとともに、その取扱いを行う職員への教育の徹底を図ります。また、窓口は多くの市民とつながる身近な接点であることから、職員の適切な窓口対応の習得や専門職員を養成し、市民から信頼される窓口を目指します。

### (2) この基本施策が4年間で主に取り組むこと

*Mission*

## 住民情報を適切に管理するとともに、市民に分かりやすい説明や丁寧な窓口対応を実施します

#### 【設定理由】

住民票や戸籍などの証明書やマイナンバーカードの交付、住所異動、戸籍届出など様々な業務を取り扱う窓口であることから、住民情報システムの適正な管理と運用を実施するとともに、市民からの相談に対応できる専門的な知識を持った職員の育成と丁寧でわかりやすい対応を図ります。



### (3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

**窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合**

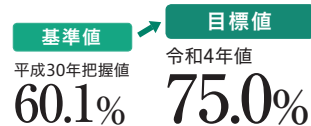


#### 【設定理由】

市役所に来庁される多くの市民が、窓口を利用することから、窓口でのわかりやすい説明と気持ちの良い対応が必須であると考え、「窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

**滝沢市で幸せに暮らしている人の割合**



#### 【設定理由】

多くの市民とつながる身近な接点となる窓口対応が気持ちよく、個人情報適正に管理されていることは市民の幸福感に寄与するものであることから、「滝沢市で幸せに暮らしている人の割合」を指標としました。



### (4) この基本施策における環境分析

#### 【外部環境分析】

マイナンバーカードの本格的な運用が開始されたことからマイナンバーカードに関連した住民基本台帳事務が増加し複雑化、高度化しています。また、国では、戸籍事務へのマイナンバー制度の導入を令和2年度に予定しています。

#### 【内部環境分析】

窓口関連業務の多様化や専門化、細分化の進行により、専門的職員の育成と知識の継承が確実に実施できる体制が必要です。

政策

基本施策

施策

1-4 市民に信頼と安心感を与えられる窓口対応

## 1-4-1 適正で丁寧な窓口の推進

この施策の所管: **市民環境部市民課・東部出張所**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **市役所の業務は信頼できる**

### (1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 戸籍におけるマイナンバー連携等に関する調査及び実施検討
- ◆ 住基ネット機器更新の実施
- ◆ 窓口対応スキルの向上及び各職員への展開
- ◆ 個人情報等の各業務における適正な取扱いの推進
- ◆ 法令を基とした分かりやすい窓口対応の推進



### (2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

**窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合**


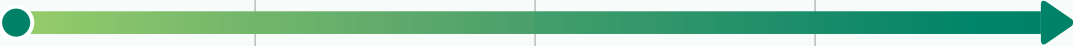



**【設定理由】**

窓口対応について、市民が「わかりやすかった」、「丁寧に説明された」と感じられることが、適正な窓口業務の推進を行った結果として直接的に判断できる最適な指標であることから、本指標により施策推進状況を把握することといたします。

### (3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">住基ネット機器更新の実施</div> 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;">わかりやすい窓口に向けた取り組み</div> 			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;">戸籍とマイナンバー連携の調査・検討</div> 		
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">戸籍法・番号法の改正</div> 